

「原子力安全改革プラン進捗報告（2013 年度第 2 四半期）」の概要

2013 年 11 月 1 日
東京電力株式会社

＜原子力安全改革プラン（設備面等）の進捗状況＞

- 福島第一原子力発電所：
 - ・ 汚染水の港湾内への流出やタンクからの汚染水漏えいを緊急かつ最大の経営課題として対策実施中
 - ・ 「汚染水・タンク対策本部」を設置し、体制強化。組織横断的に課題解決に取り組む
- 福島第二原子力発電所：
 - ・ 緊急時の復旧対応を社員自ら行うことができるよう、直営作業を通じて訓練実施中
- 柏崎刈羽原子力発電所：
 - ・ 設備面の対策に加え、事故対応時の運用面の課題についても対策を積み上げ

＜原子力安全改革プラン（マネジメント面）の進捗状況＞

原子力安全改革プランに記載した以下の 6 つの対策について実施中

- 対策 1 経営層からの改革
原子力リーダーに対してシミュレーター訓練や発電所ウォークダウンを実施
- 対策 2 経営層への監視・支援強化
原子力安全監視室が原子力部門における安全性向上への取り組みについて監視活動を開始
- 対策 3 深層防護提案力の強化
安全性向上コンペ実施による社員の技術提案力強化や、国内外の運転経験情報の分析結果による発電所に対する対策指示等を実施
- 対策 4 リスクコミュニケーション活動の充実
緊急時におけるリスクコミュニケーターの役割等について総合訓練において検証実施。また、汚染水の港湾内への流出について、リスクコミュニケーターによる在日大使館への説明を実施
- 対策 5 発電所および本店の緊急時組織の改編
福島第一・福島第二原子力発電所の緊急時組織も、柏崎刈羽原子力発電所と同様に ICS に基づく体制に移行する準備が整い、運用開始
- 対策 6 平常時の発電所組織の見直しと直営技術力強化
福島第二・柏崎刈羽原子力発電所を対象とした平常時の発電所組織について、新組織体制に移行

＜福島原子力事故における未確認・未解明事項の調査状況＞

- 福島原子力事故における未確認・未解明な事項の解決に向け、既存の記録・データ等の更なる分析・再評価や現場調査を継続実施

以 上